畜産試験場だより

養 鶏 試 験 場

今年の夏は例年以上に降雨に恵まれず暑い日が続き、鶏にとっても多難の夏であったと思われます。当場でもこの暑さが峠を越えますと、今年の春餌付した若雌の産卵も日増しに多くなり、成鶏への組替えや、来春ふ化のための鶏の交配準備で多忙な時期となります。

養鶏技術講習生

ちょっと紹介がおくれましたが昭和37年度の当場講習生は別表のとおりであり、前年度に比べますと人員は少くなっていますが、入場以来、各現場での実習と、1週4日間の講義の受講に精出しています。

当試験場発足の 31 年度から 36 年度までの6ヵ年間に､48 名の講習生を送り出しましたがその大半は、養鶏技術者として、活躍しています。

昭和 37 年度畜産技術講習生（養鶏）名簿

氏　　名	出　身　地
宮崎正弘	川上郡川上町
水川実夫	吉備郡真備町
竹内　護	英田郡英田町
矢野秋利	香川県大川郡引田町

昭和 37 年度の経済能力検定

本年度の経済能力検定は、相当数の申請がありましたが結局､次の 10 ふ化場について実施することになり、去る、4月6日から9日までの4日間にわたり各申請ふ化場まで当場職員が出張して、種卵の抜き取りを実施し、4月 16 日入卵、5月3日餌付けで検定を始めました。9月下旬頃より、産卵を開始する鶏があると思います。

昭和 37 年度経済能力検定出品者名簿

氏　　名	住　　所
山上茂吉	岡山市福富
水野大二	倉敷市船倉町
入江唯夫	岡山市平井
池田隆政	岡山市上伊福別所
大田　元	邑久郡邑久町
津山種鶏農業協同組合	津山市横山
初岡太郎	真庭郡久世町
高田　弘	笠岡市尾坂
鶴田若美	津山市小姓町
土肥泰介	井原市高屋町

研究会の開催

岡山県種鶏改良研究会は、ふ卵業者、種鶏業者、養鶏技術者、その他採卵養鶏家をもって組織して、年間数回研究会を開催していますが、次回は、当場に於て、9月中旬に鶏の病気、雛の育成に関する問題点（とくに育成の施設について）などのことについて研究会を開催することにしています。

試験研究

○「産卵鶏飼料の経済的効率増進に関する研究」

「産卵鶏飼料の経済的効率増進に関する研究」の第1次試験として、産卵鶏飼料のＣＰ・ＴＤＮにつき試験調査したが、第2次試験として6雛飼料のＣＰ・ＴＤＮが初産日令、体重、卵重量、其の他成鶏の産卵率、飼料効率等に及ぼす影響について試験検査しています。

○「種鶏に対する大豆粕給与比較試験」

種鶏用飼料として大豆粕を多給与した場合に産卵率飼料要求率授精孵化率等に及ぼす影響について知るため、慣用飼料区、大豆粕多給与区、魚粉多給与区、魚粉無給与区を設けて飼養試験を実施しています。

○「産卵鶏に対する消化酵素の添加給与試験」

消化酵素であるサナクターゼ及びセルラーゼを産卵鶏飼料に添加給与して、夏期の産卵状況、飼料要求率休産換羽鶏の発生状況等に及ぼす影響について試験調査をしています。

○「産卵鶏に対する消化酵素の添加給与試験」

消化酵素であるサナクターゼ及びセルラーゼを産卵鶏飼料に添加給与して、夏期の産卵状況、飼料要求率休産換羽鶏の発生状況等に及ぼす影響について

試験調査しています。
○「鶏に対する大豆粕多給与に関する試験」
Ⅰ、種鶏に対する大豆粕多給与に関する試験
Ⅱ、中雛に対する大豆粕多給与に関する試験
　近年我国の水産業の衰微のため、養鶏飼料の主要蛋白源である魚粉の供給は非常に不安定であるため、大豆粕に依存する傾向が大である。そこで大豆粕を多量給与した場合の成果を知るとともに、大豆粕の不足成分の補給方法について検討し、併せてその経済性を知るために試験を実施しています。
○「産卵鶏に対するはだか麦の飼料化促進に関する試験」
　家畜に対するはだか麦の栄養価は、とうもろこし・小麦等のより劣るとされていますが、卵用種雌雛の飼料に対するはだか麦の給与水準、及び経済的効果を調査するとともに、慣用されている科学飼料を合理的に添加して、はだか麦の飼料価値の増進を図るためにも試験調査を行なっています。
○「鶏卵の貯蔵に関する試験」
　鶏卵の貯蔵方法には種々の方法がありますが、水分の蒸発抑制剤であるＯＥＤグリーン溶液、及び水溶性合成樹脂であるＰＶＡを用い卵殻の表面に皮膜を作って、卵の貯蔵効果を知る目的で試験調査を実施しています。
○「鶏養施用によるビートの収量比較試験」
　ビート栽培において鶏養を施用することは非常に効果があるとされていますが、鶏養の施用が収量に及ぼす影響と、完全複合肥料を施用した場合との収量比較、及び糖度に及ぼす影響について試験調査しています。